

# 櫛かんざし

2007かごしまの新特産品「コングール」  
(社)鹿児島県特産品協会理事長賞



世界自然遺産の島・屋久島に知る人ぞ知る工房があります。屋久杉やイスノキなどで工芸品を作るデロ・ディー・グリシャムさんの工房です。アメリカ出身のデロさんを訪ね、お話を伺いました。

## 屋久島で暮らすようになったのは？

私の母は日本人で、祖父は指宿の出身。屋久島にはいとこが住んでいました。私は20年ほど前、英語の教師として日本に来ましたが、屋久島に遊びに来て自然の美しさに惹かれました。その頃は縄文杉の周りも今のように整備されていなくて、木が生えていましたよ。

それから2年ほどして、屋久島に移り住みました。屋久島の印象は、静かで、安全。昔の日本はこんな風だったんだろうなと感じます。世界遺産になつてからは観光客も増え、少し変わってきましたが、それでも朝起きたら部屋窓から海が見え、反対側には山や川



52,500円



笑顔で話すデロさん。棚に並んでいるのは、作成中の小物入れ。木の動きが止まるのを待って仕上げにとりかかる。ほとんどが5年以上寝かせたもの。

ディー・グリシャム工房  
〒891-4206 屋久島町楠川1163-2  
TEL/FAX 0997(42)1800

もある自然の中の生活がとても気に入っています。

## 工芸を始めたのは？

もともと工芸が好きで、木や自然が好きですね。屋久島のおみやげ屋さんで屋久杉の壺を見て作ってみたいと思つたのがきっかけです。それまで大学の授業で陶芸を学んだことはありましたが、木工の技術は特別ありませんでした。でも「技術よりもデザイン」と思つていたので。

材料はほとんど屋久島の木を使っています。屋久杉だけでなく、イスノキ、ツガなど。屋久島の森があるからできることですね。ミカン、ボンカン、タンカンなど果物の木も使いますよ。

## なぜ、「和」の小物、櫛かんざしを？

NHKの「美の壺」という番組が好きでよく見るのですが、その中で櫛かんざしが紹介されていて、これはきれいだと思つて挑戦してみました。

デザインは月や夕日、オーロラなど自然をモチーフにしたシンプルなものにし、それを屋久杉の木目の美しさを生かして表現しています。櫛歯は固くて色の良いイスノキを使っています。デザインにぴったり合う木を選び、形を整えていきます。特に難しいということはありませんが、手抜きをせず最後まで丁寧に仕上げようと心掛けていますので、一個完成させるのに一週間くらいかかりますね。それだけにいい物が出来たときはうれしいですね。

## これからどんな作品を作りたいですか？

京都の呉服屋さんから頼まれて帯留めを作つたり、いろいろな作品に挑戦しています。屋久杉の万年筆がおみやげ屋さんに並んでいます。最初に作ったのは私じゃないかな。

おもしろいものや変わったものを作るのが楽しいので、他の人が作っていない物を作っていきたいですね。

デロさんの作品は屋久島環境文化村センターの売店で販売しています。ペンダント、置き時計、壺、小物入れ、独楽。洗練されたデザインと丁寧な仕上げが好評で、人気だそうですね。和と洋がミックスした屋久島の逸品。屋久島の思い出にひとついかがでしょうか？

締め切り  
平成20年10月31日(金)

## PRESENTS

プレゼントコーナー

屋久杉、ミカンノキ、イスノキを組み合わせたかわいらしい携帯ストラップ「李音(森の妖精)」を3名様にプレゼント。

○応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに

①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥職業、⑦電話番号を記入の上、下記までお送りください。

●はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

●F A X 099 (286) 2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

●メールアドレス h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報、プレゼント送付以外の目的には利用しません。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

